

# 株式会社日本レーザー(東京都新宿区)

【輸入商社】



LEADER

代表取締役 近藤 宣之 氏

商工会議所のイチョン  
女性の活躍推進

女性の活躍をはじめ、「人を大切にする経営」を理念とするダイバーシティ経営に積極的に取り組んでいる株式会社日本レーザー。その取り組みが評価され、ダイバーシティ経営企業100選、おもてなし経営企業50選、キャリア支援企業表彰等、多数受賞している。

## ダイバーシティ経営で両立と活躍を可能に

### ■背景・きっかけ:

同社の近藤社長は、「優秀な人材を採用しようと思えば、学歴、性別、国籍は関係ない。当社の価値観に合う人材が必要」との考えである。

登用の方針も同様で、クレド(企業の信条や行動指針を簡潔に記したもの)に「年齢や学歴、性別、国籍、思想信条等に関わらず、公正に処遇する」と明記している。

### ■取組内容・効果:

「人を大切にする経営」を理念に、「社員の成長が企業の成長」という方針のもと、社長がリーダーシップを発揮。女性の活躍をはじめ、多様な人材が能力に応じて働き、業績に応じて処遇されるダイバーシティ経営を進めている。同社は、社員の3分の1が女性であるが、女性の管理職を積極的に登用。現在、女性の管理職は7人で、比率は38.9%となっている。

具体的には、女性のライフスタイルに応じた多様な勤務形態を導入。また、管理職比率の向上や将来の役員輩出に向け、社内での意識改革にも取り組んでいる。

多様な勤務形態として、在宅勤務やフレックス勤務等の制度を確立している。さらに、女性が管理職や役員として活躍できるように、教育や研修制度を充実させているほか、女性社員が一步踏み出す勇気を持てるよう、社長自ら指導している。

意識改革としては、働き方の契約であるクレドを毎日会議のたびに唱和し、その内容に基づく総合評価を社員自身と上司、役員が行い、社員にフィードバックして徹底している。

これらの両立・活躍支援により、これまでに第一子出産で、退職した女性はいない。同社では、いわゆるM字カーブは存在しなく、全員が産休、育児休暇を取って職場復帰している。

### ■今後の展望と課題

平成30年度に初の女性役員を誕生させることを目指し、幹部教育を継続実施している。あわせて、管理職比率40%達成を目標に掲げ、そのための研修や育成計画にも取り組んでいる。



生き生き働く女性社員



46周年記念式典



本社ラウンジでの昼食

### 中小企業の実践 ポイント

- ▶ 多様な勤務形態を導入
- ▶ 研修と意識改革により役員登用、管理職比率アップへ

### 【企業データ】

代表者	近藤 宣之	会社設立年	1968年	従業員数	58人
本社所在地	東京都新宿区西早稲田2-14-1	ホームページ	http://www.japanlaser.co.jp/		
事業内容	レーザー・光学製品輸入販売および自社ブランド製品開発販売				